

運営方針

都市づくり部は、本市が次代に相応しい魅力ある都市として持続、発展していくため、第5次総合計画、都市計画マスタープランに示された集約連携都市を目指します。

また、道路・橋梁・公園・公営住宅などの都市インフラ施設の適正な管理、整備、長寿命化に努めるとともに、市民の大切な移動手段である公共交通の維持・充実に努め、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

【重点施策とめざす方向】

持続可能な都市の形成と魅力あるまちづくりの推進

・立地適正化計画の策定

第5次総合計画・都市計画マスタープランに示された集約連携都市の実現を目指します。

・中心市街地や道路沿道の土地利用の促進

中心市街地の活性化や上原・高向地区など実情にあわせた土地利用を行う地域において、計画的なまちづくりの誘導など、地域価値を高めるまちづくりを推進します。

【実績】

ほぼ目標どおり達成

・平成30年度末の計画策定に向け、課題の整理や誘導区域の設定方針の検討などを行いました。

・河内長野駅前前の中心市街地において、地権者等へ建築物共同化を進める支援策として、コーディネート派遣要領を制定し土地利用の促進を図りました。

また、上原・高向地区において、概ね9割の地権者の同意を得て、土地区画整理準備組合を設立し、道路沿道の土地利用の促進を図るまちづくりを推進しました。

公共交通の維持・充実

・「河内長野市公共交通のあり方」及び「地域公共交通網形成計画」の策定

・モックルコミュニティバスの充実に向けた取り組み  
市民の大切な移動手段であるバスなどの公共交通の維持・充実に努めます。

また、交通弱者や公共交通不便地域の対策も含めて、市民・公共交通事業者・行政などの関係者が協働で支える仕組みづくりを進めながら、本市の実情に即した持続可能な公共交通等の確保に取り組めます。

目標どおり達成

・持続可能な公共交通を確保していくため、「河内長野市地域公共交通計画」を策定しました。

・モックルコミュニティバスの充実のため、市民ニーズに対応した運行形態(ダイヤ・ルート)見直しを行いました。(平成30年度実施予定)。

また、交通弱者や交通不便地域の対策を進めるため、引き続き、楠ヶ丘地域乗合タクシーの運行や新たな地域公共交通運行に向けた地域での勉強会開催への支援等に取り組めました。

## インフラマネジメントと市民協働の推進

- ・道路・橋梁・トンネルの計画的な補修
- ・公園の計画的な維持管理

道路・橋梁・公園などの都市インフラ施設について、予防保全による施設の長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理に努め、市民が安全に安心して施設を利用できるよう、インフラマネジメントに取り組めます。

- ・市民協働の推進

アドプト参加団体など協働の担い手をサポートし、公益財団法人河内長野市公園緑化協会の活性化を図るなど、多様な主体との連携・協働を進めます。

## ほぼ目標どおり達成

・道路・橋梁・トンネルについては、誰もが安心して通行できるよう、各道路施設の修繕計画に基づき維持補修を行いました。

・公園については、長寿命化計画策定に向け、公園施設の維持管理計画を作成しました。また、公園緑化協会の活性化と連携を図るため、毎月連絡調整会議を行いました。

・協働団体と調整を行い、緑地及び遊歩道の整備を行いました。

・アドプトロードの参加団体は昨年度より1団体増え現在15団体となり、市では塵芥処分を行うなど、参加団体のサポートも行いました。

## 道路ネットワークの強化と道路環境の充実

- ・広域幹線ネットワークの促進
- ・道路環境の充実

市域全体の活性化を図るため、広域幹線道路・地域間連絡道路・生活道路など、地域ごとの特性を生かし、道路ネットワークの強化を図ります。

また、急速に変化していく社会状況に柔軟に対応していくため、福祉の観点も配慮した交通安全対策や道路整備などにより、機能の向上を目指します。

## ほぼ目標どおり達成

・中期的な構想として、大阪河内長野線の延伸や堺市方面へのアクセス道路整備、また長期的な構想として、大阪南部高速道路の事業化を進めるため、それらの実現に向けての検討や関係機関への要望活動などを行いました。

・市道広野高向線においては、従前より通学路として歩行者と車両が安全に通行できるよう道路整備を進め、交通安全対策を図りました。